

Vol.03 JUL.2013

RCAST NEWS

東京大学先端科学技術研究センター



5/31 (金) ~ 6/1 (土) 公開時間 10:00 ~ 17:00

東京大学駒場リサーチキャンパス公開



Contents

Special Issue 「駒場リサーチキャンパス公開」

オープニングセレモニー	03
たまご落としコンテスト	04
理科教室	
「磁石(じしゃく)のふしぎ」 中村・宇佐見研究室	06
「オリジナル太陽電池をデザインしよう」 岡田研究室	07

研究室展示	08
写真で振り返るキャンパス公開	10
RCAST Report - 活動報告 -	12
Research, Event, International, Media etc.	
Information	14
Winning, Event, Book, HR etc.	

Special Issue

駒場リサーチキャンパス公開を開催！

駒場リサーチキャンパス公開（先端科学技術研究センター・生産技術研究所主催）が5月31～6月1日まで開かれ、近隣住民や企業関係者ら約5000人が来場しました。先端研では情報、材料、生物医化学、環境・エネルギー、バリアフリー、社会科学の6分野・31研究室がデモンストレーションや体験型展示、講演会などさまざまな企画を実施しました。今年初めて開催した「たまご落としコンテスト」も約150名が参加し、大盛況となりました。今号の「RCAST NEWS」はキャンパス公開の様子を10ページの特集でお伝えします！

今年初めて開催された「たまご落としコンテスト」は150名が参加し大盛況となった



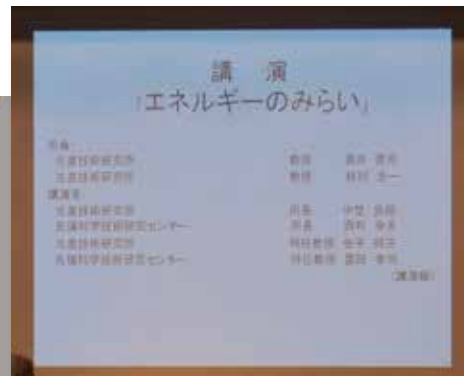
— 研究成果展示や理科教室 —

オープニングセレモニー

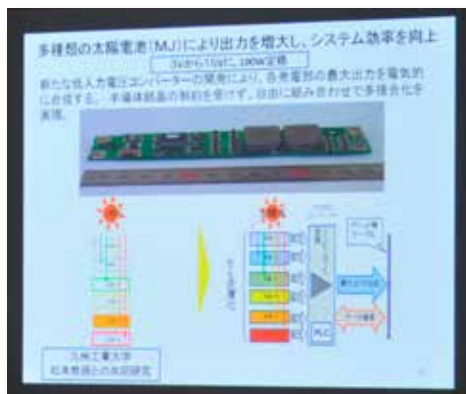
今年のオープニングセレモニーは、東日本大震災によって変換を迫られたエネルギー開発の方向性について考えようと、「エネルギーの未来」をテーマに開催された。西村幸夫先端研所長と中埜良昭生研所長のあいさつに続き、エネルギーの未来を明るくするために先端研、生研が取り組んでいる研究を紹介した。先端研からは富田孝司特任教授が「集光追尾型太陽光発電システムの開発と応用について」、生研からは金子祥三特任教授が「日本のエネルギーの動向と産業復興」と題して講演した。



オープニングセレモニーであいさつをする西村幸夫所長



あいさつする中埜良昭生研所長



基調講演をする富田孝司特任教授



Special Issue 一駒場リサーチキャンパス公開一

駒Ⅱ初!「たまご落としコンテスト」を開催!

駒場リサーチキャンパス公開の目玉企画として、今年は「たまご落としコンテスト」を初めて開催した。たまご落としコンテストとは、生田幸士教授(医用マイクロマシン)が、物事に創意工夫を凝らす楽しさに触れてもらおうと授業で実施したのが始まりで、現在は東大のほか全国各地の中学・高校などでも広く実施されている。駒場リサーチキャンパス(駒Ⅱ)では初開催ということもあり、コンテスト会場の選定や当日の会場設営、ビデオ撮影など、生田研究室の嶋田直矢さん(博士課程2年)を中心に、生田研総出で準備を進めてきた。コンテストに挑んだのは、小学生、中高生、東大生や東大教授など幅広い年齢層の約150人。さて、一体何人がたまごを守ることに成功できたのだろうか?

■制限時間ぎりぎりまで工作!

たまご落としコンテストのルールはいたって単純。「6階(約20m)の高さから生たまごを落とすだけ」だ。そのまま落としたら当然たまごは割れてしまうため、割れないように工夫してたまごのパッケージを工作する。材料は、B4(大人の方はB5)の厚紙と木工ボンドのみ。工作の制限時間は1時間だ。工作会場となった4号館講堂には参加者が制限時間ぎりぎりまで試行錯誤を重ね、真剣な表情でたまごのパッケージを工作する姿が見られた。

■コンテストスタート!

そしていよいよ、コンテストがスタート! 楽しく安全にコンテストを実施するため、生田研のメンバーはもちろん、生産技術研究所の竹内研の若手研究者も手伝いに駆け付け、対応にあたった。たまごを落とす大役を命ぜられたのは生田研の木村雄亮さん(博士課程1年)。命綱とヘルメットを装着し、合図とともに4号館6階の窓から一作品ずつ落としていった。地上では池内真志助教が赤旗と白旗をもち、たまごが割れていないか判定。池内助教が割れていないことを確認し、白旗を上げると、会場は大きな歓声に包まれた。

■成功者はほとんど小学生

コンテスト会場には、午前、午後の各回併せて参加者とその家族や見物客など約200名以上が詰めかけた。失敗した人も、成功した人も最後まで大いに楽しんだ様子だった。

そして、いったいどれだけの人が無事に約20mの落下の衝撃からたまごを守ることに成功したのだろうか? 今回、実際にたまごを守ることができたのは、全体のわずかに約1割。成功者の多くは小学生だったというから驚きだ。生田教授も「今回は小学生の柔軟な発想力に驚かされました」と感心していた。

会場となった4号館の中庭。高さ20mは結構高い





生田教授のあいさつのあと、コンテストスタート

工夫を凝らしてつくった力作を披露！
果たして結果は…？



たまごが割れないよう一生懸命工作する参加者のみなさん

作品を落とす際は慎重に…。



ついに成功者があらわれた！
成功の白旗をあげる池内助教



一作品落とされるたびに
はらはらしながら見守るギャラリーのみなさん



Special Issue ー駒場リサーチキャンパス公開ー

理科教室

子どもたちに科学の楽しさに触れてもらおうと、今年のキャンパス公開では、中村・宇佐見研究室が「磁石（じしゃく）のふしぎ」、岡田研究室が「オリジナル太陽電池をデザインしよう」の2つの理科教室を開催し、計39名が参加した。参加者からの感想も好評で、「また参加したい」、「楽しかった」などの感想が寄せられた。

「磁石（じしゃく）のふしぎ」@中村・宇佐見研究室

「みんなで磁石で遊んでみよう！」中村・宇佐見研究室の理科教室には小学2～4年生の17名が参加した。同研究室の「わんぱく1日研究員」に任命された参加者は4班に分かれた各テーブルで、「自分で不思議を探そう！」というミッションを達成するため、日頃あまり見ることのない超強力ネオジウム磁石、砂鉄入りスライム、はりがね単極モーターなどで遊びながら、さまざまな磁石の不思議を探求。父兄が見守る中、会場にはわんぱく1日研究員のにぎやかな声がこだました。



「1日わんぱく研究員」の名札をつけて研究員のお仕事を体験！

くっついた磁石を引き離そうとする参加者と中村泰信教授（中央）。
「磁石の力が強すぎて引っ張ってもなかなか離れない！」



超強力ネオジウムボールをアルミパイプの中に入れて実験

●参加者の感想

- 小学3年：とても楽しかったのでまたきたいです。
- 小学2年：じしゃくのことわかりました
- 小学2年：つよいじしゃくがひつつくのがたのしかった
- 小学2年：じしゃくのじっけんがいろいろできてとてもたのしかったです。
ありがとうございました。
- 不 明：スライムが楽しかった
- 小学4年：いろいろなじしゃくが見られたからうれしかったです。
スライムおもしろいです。
- 小学4年：全部楽しかった。
- 小学4年：いろいろなことがわかってよかったです。
- 小学3年：またいきたい。
- 小学2年：たのしかったです。

「東大」という文字で電極をデザインした参加者も！



「オリジナル太陽電池をデザインしよう」@岡田研究室

岡田研究室が開催した理科教室には小学4年～中学2年生までの22名が参加し、星井拓也助教が太陽電池の仕組みについて解説した。参加者は太陽電池の表面電極に自分の好きな動物や文字などを描いてデザイン。作成した太陽電池を太陽光にあて、起電力を観察していた。

太陽電池の表面電極にお絵かき！みんな真剣です



まずは星井助教が太陽電池の仕組みについて解説

●参加者の感想

小学6年：電極をまさか自分で書けるとは思いませんでした。
楽しかったです。

小学5年：ペンで絵を描くのがたのしかった。

小学5年：とても楽しかった

小学6年：太陽電池のことがよくわかって生活にもいかしたい。

小学5年：太陽電池のことがよく分かってよかったです。

小学5年：ペンが出にくかったのが、インクがもっとでるペンでやりたかった。作るのは楽しかった。

小学5年：とても楽しかった

中学2年：楽しかったです！！ また何かやってください！！ 入ります！！

小学5年：やり方をおしえてくれるのは分かりやすかったです。ありがとうございます。日にちがあったらまた来たいです。

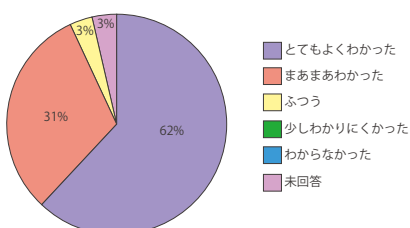
小学5年：自分でオリジナルの電極が書けたのがとてもおもしろく、太陽電池の原理がよくわかりました。ありがとうございました。

中学2年：はじめて太陽電池のしくみを知ることができました！ 豆電球があったら実験してみたいです。ありがとうございました。

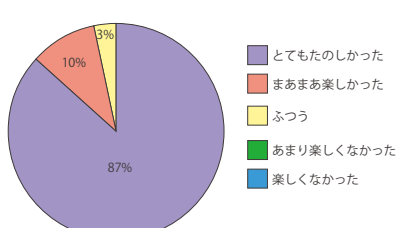
アンケート結果

理科教室の参加者37人に事後アンケートの協力を依頼し、29人から回答が得られた。

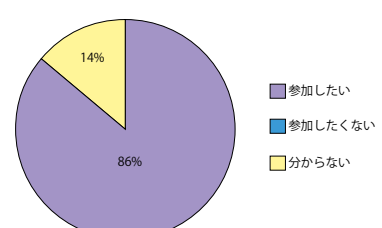
【質問1】説明してくれた先生のお話は分かりましたか？



【質問2】理科教室は楽しかったですか？



【質問3】来年も理科教室に参加したいですか？



Special Issue 一駒場リサーチキャンパス公開一

研究室展示

たくさんの方が来場するキャンパス公開は先端研の研究成果をアピールする絶好のチャンス！ とあって、各研究室が体験型の展示をするなど趣向をこらして研究成果を紹介した。来場者は研究者に質問したり、写真を撮るなどして研究について理解を深めていた。

福島研究室 (バリアフリー)

福島研究室は、見る・聞く・感じる際に直面するバリアについて参加者と一緒に考えようと、「聞こえや補聴器に関する相談コーナー」や「見えない・聞こえない世界を体験する盲ろう疑似体験コーナー」のほか、発達障害の当事者研究に関するシンポジウムなどさまざまな体験企画や展示を行った。

指点字を教える福島教授



■福島教授が指点字を伝授！

福島智教授が普段コミュニケーションで使っている指点字を直接伝授した。参加者は福島教授のマンツーマン指導のもと、指点字の50音表を見ながら、自分の名前を指点字で打つことに挑戦！参加した方は初めての指点字に苦戦しつつも、福島教授に自分の名前が伝わるとうれしそうな表情を見せていた。

福島教授が普段使っている指点字は、左右3本の指（人差し指・中指・薬指）をパーキンスブレーラーという6点式点字タイプライターの6つのキーに見立てて、読み手の手に打つというもの。福島教授の指点字は全国の盲ろう者に広く知られ、盲ろう者のコミュニケーションの新たな選択肢となっている。

■盲ろう疑似体験

大河内直之特任研究員は、福島教授の「見えない・聞こえない状態でのコミュニケーション」を参加者に体験してもらうため、盲ろうの疑似体験の企画を実施。参加者は目にアイマスクを、耳にはノイズを流したヘッドホンをつけて外界の光と音を遮断。箱の中に手を入れ、触角のみで指定されたコインを探し当てることに挑戦した。

熊谷晋一郎講師は「精神・発達障害の情報保障を考えるシンポジウム」を開催

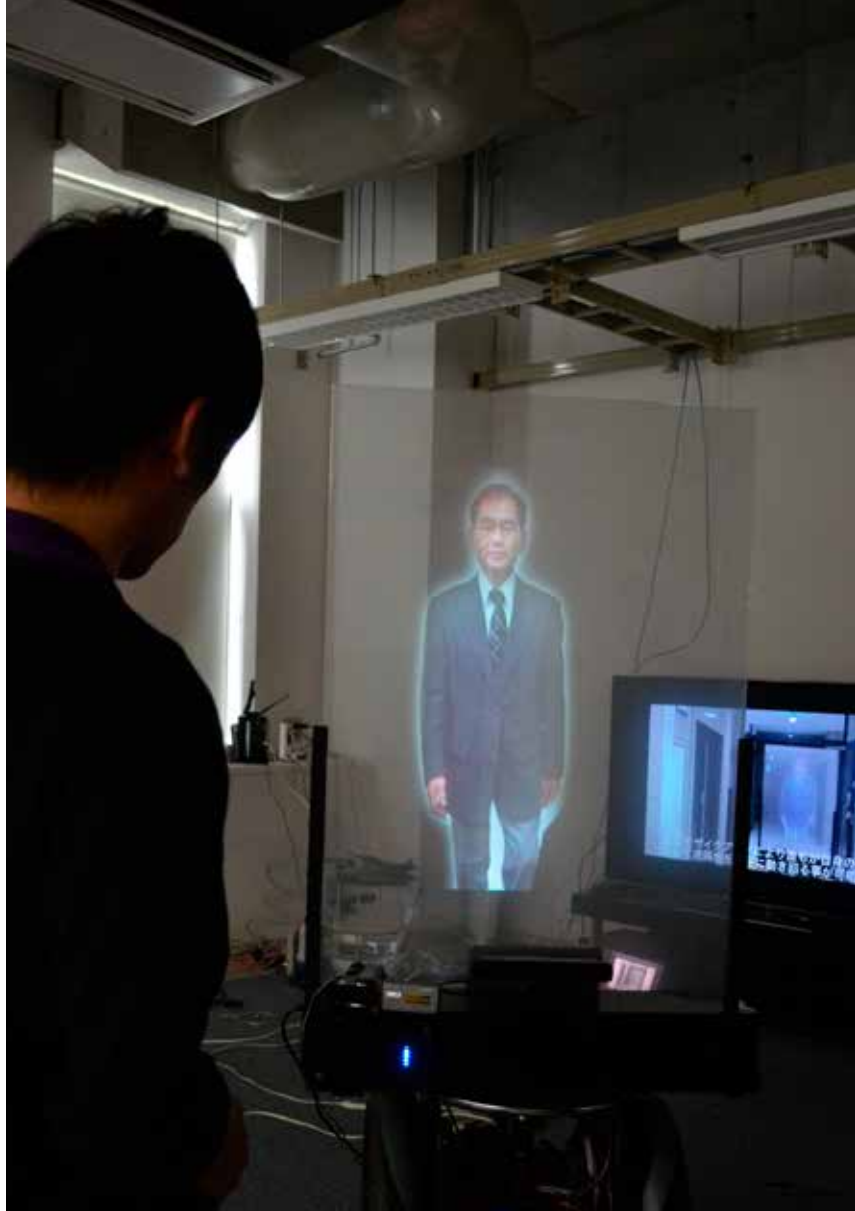


廣瀬・谷川研究室

(生命知能システム)

超高齢化社会に備えて高齢者の経験や知識を推進力とするために行っている「高齢者クラウド」の研究成果を展示。高齢者の柔軟な働き方を支援する「時間 Mosaic 編成支援システム」や、高齢者の遠隔就労を支援するために開発しているアバターロボットなどを紹介した。

高齢者の遠隔就労を支援する「アバターロボット」



巖淵研究室 (支援情報システム)

ICT を利用したグローバル支援技術をテーマに、障害のある人や高齢の人に役立つ情報技術を応用した支援技術を展示。体や顔の動きをとらえることのできるカメラ「キネクト」を利用した重度重複障害のある人のための非接触型スイッチ「OAK」や携帯電話を利用した介護場面におけるコミュニケーション支援システムなどを紹介していた。

キネクトの操作を体験する
来場者と巖淵守准教授 (右奥)



Special Issue 一駒場リサーチキャンパス公開一

写真で振り返るキャンパス公開

講演会・特別展示



司会は瀬川研究室の松本真由美客員准教授



「医用マイクロマシンの最先端と実用化への課題」をテーマに講演した生田幸士教授

高橋智隆特任准教授は「ロボット時代の創造」をテーマに講演。開発したロボット「エボルタ君」も参加した



森川博之教授の講演テーマは「新たな社会創造に資する情報ネットワーク」。ビッグデータが拓く未来を解説した

御厨貴客員教授は「記憶・記録・データ —アーカイブスの発見と利活用—」をテーマにシンポジウムを開催



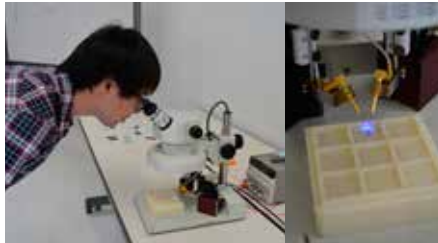
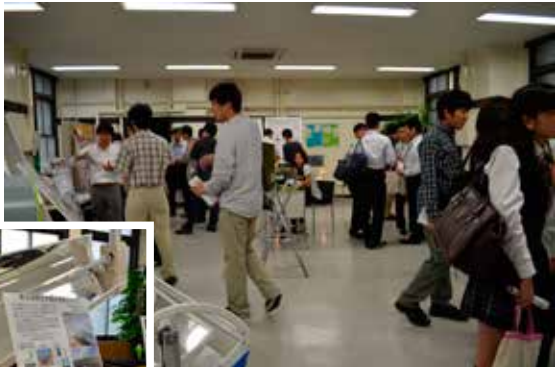
先端研図書室はパネル展示「写真でみる東京大学航空研究所」を開催

13 号館の時計台前の受け付けで来場者をお迎え。
両日とも午前 10 時からたくさんの方にご来場いただきました



研究室展示

↓太陽光発電の研究成果を集めて一堂に紹介。



←電流を流し、光った LED を顕微鏡で観察
(中野・種村研究室)

渡邊研究室の展示では

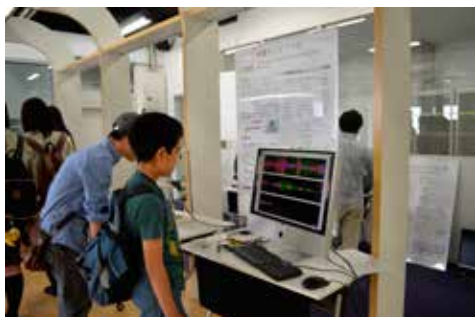
↓ 認知科学の実験被験者を体験



←注目を集めている集光追尾型
太陽光発電システムを展示
(富田研究室)



中村・宇佐見研究室は実験室を公開し、
「自由自在に量子を操る達人になる！」をテーマに研究成果を紹介した ↓



↑森川研究室は「ICT によるスマートな社会の
実現を目指して」をテーマに展示した

←岡本研究室は「ダイナミック
な DNA や RNA を診るための
化学」をテーマに展示



駒場リサーチキャンパス公開を振り返って

キャンパス公開委員長 日暮 栄治



この時期の恒例行事として定着した駒場キャンパス公開は、今年も晴天の中無事に開催されました。5,000 人を超える皆さんにご参加いただきました。委員長を仰せつかった小生は、うろうろと見回りを行っていましたが、参加者には先端研の雰囲気や十分に味わっていただけた様子です。さまざまな分野の研究室をもつ先端研への関心が深まるよい機会になったことと思われまふ。「エネルギーの未来をテーマにしたオープニングセレモニーや各講演会は、一部立ち見もありという大盛況で、多くの参加者が熱心に耳を傾けていました。また、理科教室は、HP 公開後すぐにキャンセル待ち状態となってしまう、小中高校生や保護者等から多くの期待を受けていることがわかりました。駒場リサーチキャンパスで初の試みとして行った「たまご落としコンテスト」は、予想を超えた来場者にたまごが底をつくという、うれしい誤算もありましたが、千差万別なたまごが落ちる様子を子供たちは目を輝かせながら楽しんでいました。

以上のように、大変活気の溢れるキャンパス公開となりましたが、これは運営に関わった多くの方々の献身的な努力の結果であります。広報・情報室や事務室職員のサポート、キャンパス公開ワーキンググループメンバ、各研究室の先生方および学生諸君の多大なご協力のおかげであります。この場を借りて皆様に深く感謝申し上げます。

東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻説明会には 33 名が参加した



RCAST Report - 活動報告 -

Press Release

2013 年 4 月 11 日

- ・ 障がい児の学習・生活支援を行う「魔法のランププロジェクト」の協力校を決定

中邑賢龍教授（人間支援工学）、共同研究：ソフトバンクモバイル株式会社、株式会社エデュアス

<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/rcast/report/2013/0411.pdf>

2013 年 4 月 18 日

- ・ 「DO-IT School」プロジェクト実証研究参加教員・指導者を募集

中邑賢龍教授（人間支援工学）、共同研究：日本マイクロソフト株式会社、株式会社エデュアス

<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/rcast/report/2013/0418.pdf>

2013 年 4 月 25 日

- ・ 先端研と富士フイルムによる新分野開設及び、東大初の教授（特例）の設置

浜窪隆雄教授（特例）（計量生物医学）、共同発表：富士フイルム株式会社

<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/rcast/report/2013/0425.pdf>

2013 年 6 月 17 日

- ・ スピン反転励起が可能な新色素 DX で有機系太陽電池の大幅な広帯域化を実現

瀬川浩司教授（エネルギー・環境）、共同発表：東京大学大学院工学系研究科

<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/rcast/report/2013/0617.html>

2013 年 6 月 26 日

- ・ 小型イオン推進システムのエンジニアリングモデル開発に成功

小泉 宏之 准教授（数理創発システム）、共同発表：東京大学大学院工学系研究科

<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/rcast/report/2013/0627.html>

2013 年 7 月 4 日

- ・ 脳の学習能力の源泉は“ダーウィニズム”～大脳皮質の機能マップの面積が神経細胞の多様性と連動していることが明らかに～

高橋 宏知 講師（生命知能システム）

Research - 研究成果 -

2013 年 5 月 30 日

- ・ スーパーコンピュータ「京」に最適化した GROMACS 正式リリース版 (Ver.4.6.2) を 5 月 30 日に公開しました。IT 創薬研究をさらに加速化させるため、昨年 2 月からスウェーデン・ストックホルム大学などと共同で進めてきた研究成果です。

<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/rcast/report/2013/0603.html>

2013 年 6 月 26 日

- ・ 先端研と株式会社電通、トヨタ自動車株式会社は宇宙航空研究開発機構の協力のもと、2013 年夏から宇宙に滞在するヒト型コミュニケーションロボットの共同研究“KIBO ROBOT PROJECT”を進めています。このたび、宇宙に打ち上げる「KIROBO（キロボ）」、また、地上で活動する「MIRATA（ミラタ）」の 2 体のロボットが完成し、6 月 26 日報道機関向けにお披露目の記者発表会を開催しました。

<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/rcast/report/2013/0415.html>

RCAST Research Tour

2013 年 6 月 13 日

- ・ 島根県立浜田高等学校理数科 2 年生 29 名が先端研リサーチツアーに参加しました。午前中は東大の学生団体「FairWind」がキャンパス見学と進学個別相談会を実施。午後からは、神崎亮平副所長が先端研の概要を説明した後、エネルギー・環境研究室（瀬川浩司教授）と生命知能システム研究室（神崎亮平教授）を見学しました。

* 先端研リサーチツアーの詳細は先端研ホームページをご覧ください。 <http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/rcast/visit/>

International - 国際関連 -

2013 年 4 月 18 日

- ・中国の報道機関 7 社 8 名の記者団が 4 月 18 日、先端研を訪問し、大気環境問題や新エネルギーなどをテーマに、先端研教員と中国記者団による意見交換会を開催しました。

2013 年 6 月 8 日

- ・フランス高等教育・研究省大臣が来所し、先端研の日仏新エネルギー連携研究拠点オフィス「LIA NextPV (LIA: Laboratoire International Associé)」を視察しました。

Media - メディア etc.-

2013 年 2 月

- ・松田達助教(都市保全システム:西村幸夫教授)と森ビル統括設計部長 添川光雄氏との対談「都市のスマートモビリティ」が東芝エレベーター広報誌『FUTURE DESIGN vol.33』に掲載されました。

2013 年 3 月 22 日

- ・池内恵准教授(イスラム政治思想)のオバマ大統領のイスラエル訪問に関するコメントが日本経済新聞に掲載されました。

2013 年 4 月 4 日

- ・高橋智隆特任准教授(人間支援工学:中邑賢龍教授)が中高生向け科学学習サイト「WAO サイエンスパーク」で紹介されました。

2013 年 4 月 10 日

- ・高信頼性・高温材料研究開発コンソーシアム(高信頼性材料:香川豊教授)が化学工業日報で紹介されました。

2013 年 5 月 2 日

- ・神崎亮平教授(生命知能システム)が国立情報学研究所などが提供する学術ポータルサイトの「Researchmap」で紹介されました。

2013 年 5 月 9 日

- ・ICT 実正フィールドコンソーシアム(情報ネットワーク:森川博之教授)が日本経済新聞 朝刊 10 面「ビッグデータ活用で東大と連携 KDDI・NEC など 13 社」で取り上げられました。

2013 年 5 月 13 日(日本時間)

- ・巖淵守准教授(支援情報システム)が開発した障害者支援ソフト「OAK」について NHK ワールド「Great Gear」で紹介されました。

2013 年 5 月 14 日

- ・中邑賢龍教授(人間支援工学)が朝日新聞朝刊 15 面「デコボコを愛せよ」で取り上げられました。

2013 年 5 月 26 日

- ・油谷浩之教授(ゲノムサイエンス)が BS フジ:ガリレオ X「操られる遺伝子 エピジェネティクスが変える遺伝子研究」に出演しました。

Other - その他 -

2013 年 4 月 3 日

- ・福井照文部科学副大臣が、駒場リサーチキャンパスを訪れ、先端研と生産技術研究所を視察しました。

2013 年 5 月 10 日

- ・本年の先端研新任研修及び新人歓迎会を実施いたしました。

2013 年 7 月 3 日

- ・本年の防火・防災講習会を実施いたしました。

2013 年 5 月 28 日

- ・中村尚教授(気候変動科学)が日本経済新聞朝刊 16 面で米オクラホマを襲った巨大竜巻について解説しました。

2013 年 5 月 31 日

- ・西村幸夫教授(都市保全システム)が NHK「ナビゲーション(東海北陸地方)」に出演しました。

2013 年 5 月

- ・安藤規泰助教(生命知能システム:神崎亮平教授)が Science & Vie 2013 年 5 月号(P50)の特集「カイクガがロボット車を操縦 東大が実験」で紹介されました。

2013 年 6 月 4 日

- ・竹川暢之准教授(気候変動科学:中村尚教授)が富士電気などと開発した大気中の微粒子をリアルタイム分析する装置について、日本経済新聞 朝刊 14 面で紹介されました。

2013 年 6 月

- ・松田達助教(都市保全システム:西村幸夫教授)がドイツのデザイン雑誌「form」(248)で紹介されました。

2013 年 7 月 1 日

- ・垣澤英樹准教授(高信頼性材料:香川豊教授)が NHK「クローズアップ現代:驚きの“生物パワー”が技術を変える」で紹介されました。

2013 年 7 月 1 日

- ・小泉宏之准教授(数理創発システム:西成活裕教授)が開発した超小型衛星向けの小型イオンエンジンについて、日刊工業新聞朝刊 17 面で紹介されました。

2013 年 7 月 1 日

- ・岡田至崇教授(新エネルギー)が開発した多接合型次世代太陽電池の性能を評価する装置について、日経産業新聞朝刊 11 面で紹介されました。

2013 年 7 月 4 日

- ・飯田誠特任准教授(エネルギー・環境:瀬川浩司教授)が福井エフエム「Living Planet」に出演しました。先端研などがこの夏から福井県越前町小樟(ここのぎ)で進める人工ブローホールを使った波力発電の実証研究が紹介されました。

RCAST Report - 活動報告 -

Events - 講演会・シンポジウム etc. —

2013 年 3 月 19 日

- ・森川研究室(情報ネットワーク:森川博之教授)が、ICT 実証フィールドコンソーシアムの第 1 回総会、第 1 回運営委員会合同会合を開催しました。

2013 年 4 月 15 日

- ・池内恵准教授(イスラム政治思想)が、日本記者クラブで「革命から 2 年の現実—エジプト政治の構造的把握—」と題して講演を行いました。

2013 年 4 月 17、18 日

- ・中村尚教授(気候変動科学)が韓国気象学会 50 周年記念大会で講演しました。

2013 年 4 月 26 日

- ・橋本研究室(インテリジェント材料学:橋本和仁教授)が、光機能材料研究会第 43 回講演会「有機系太陽電池の最新実用化技術」を開催しました。

2013 年 4 月 26 日

- ・石川県で開催した「エネルギースマートゾーンフォーラム」に西村幸夫所長らが参加し、岡田至崇教授(新エネルギー)が、太陽光発電や風力発電の最新動向について基調講演を行いました。

2013 年 5 月 13 日

- ・西成研究室(数理創発システム:西成活裕教授)が、国際ワークショップ Complex Systems:the multidisciplinary contribution を開催しました。

2013 年 5 月 16 日

- ・橋本研究室(インテリジェント材料学:橋本和仁教授)が、光機能材料研究会第 44 回講演会「人工光合成型光触媒の開発と最新技術」を開催しました。

Information

Winning - 受賞・評価 -

2013 年 4 月～5 月

- ・松田達助教(都市保全システム:西村幸夫教授)の「JAIST ギャラリー」(林野紀子氏との共同設計)が、第 16 回木材活用コンクールにて「木質デザイン特別賞」と第 42 回いしかわインテリアデザイン賞 2013 にて石川県知事賞受賞を受賞しました。

2013 年 4 月 8 日

- ・馬場靖憲教授(科学技術論)が平成 25 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において、科学技術賞(科学技術振興部門)を受賞しました。

2013 年 4 月 17 日

- ・藤田敏郎名誉教授(臨床エピジェネティクス)が欧州高血圧学会(ESH)の「ESH HONORARY MEMBERSHIP」と公益財団法人成人血管病研究振興財団の「岡本国際賞」の 2 つの国際賞を W 受賞しました。

2013 年 5 月 24 日

- ・西村幸夫教授(都市保全システム)が平成 24 年度日本都市計画学会賞年間優秀論文賞を受賞しました。

2013 年 6 月 12 日

- ・武田直希協力研究員、田原雅哉協力研究員、小泉和裕協力研究員(気候変動科学:中村尚教授・竹川暢之准教授)がフジサンケイビジネスアイ先端技術大賞特別賞を受賞しました。

2013 年 6 月 14 日

- ・野口祐二准教授(化学認識機能材料:宮山勝教授)のアメリカセラミックス協会フルラス賞受賞が決定しました。

2013 年 6 月 14 日

- ・鈴木真也助教・市川裕樹大学院生(化学認識機能材料:宮山勝教授)が(公社)日本セラミックス協会 2013 年年会で優秀ポスター発表賞を受賞しました。

Information

Event - イベント情報 -

2013年7月27日

- ・科学実験教室わくわくサイエンススクール「昆虫の感覚と行動の不思議」
- 場所：つくばエキスポセンター 第3休憩室(1階)
- 主催：つくば市、公益財団法人つくば科学万博記念財団
- 講師：神崎亮平教授(生命知能システム)
- ※申込は締め切りました。

Book - 新刊 -

記号の海に浮かぶ〈しま〉—見えない都市(磯崎新建築論集 第2巻)

磯崎新、松田達：岩波書店 2013.3

タブレット PC・スマホ時代の子どもの教育

中邑賢龍、近藤武夫編著：明治図書出版 2013.5 刊

園部逸夫オール・ヒストリー

御厨貴編、玉井克哉[ほか]著：法律文化社 2013.6 刊

研究する大学：何のための知識か

中村征樹、菅 裕明、玉井克哉[ほか]著：岩波書店 2013.7 刊

HR - 人事情報 -

2013年4月16日 採用

徐 博 特任研究員
(前職：工学系研究科電気系工学専攻博士課程)

川上 綾子 学術支援専門職員
(前職：事務部企画調整チーム(人事給与担当) 一般職員)

2013年4月30日 退職

金田 篤志 特任准教授
(転出先：千葉大学大学院医学研究院分子腫瘍学教授)

新井 永範 特任研究員
(転出先：学校法人新井学園赤門会日本語学校 企画・広報部)

刘 敏 特任研究員
(転出先：工学系研究科化学システム工学専攻特任研究員)

2013年5月1日 採用

長井 超慧 特任助教
(前職：アブドゥラ王立科学技術大学院大学ポスドク研究員)

落合 由佳 特任専門職員
(前職：事務部企画調整チーム(企画調整担当) 一般職員)

2013年5月31日 退職

井上 茂 特任助教

桑原 玲子 特任研究員
(転出先：理化学研究所統合生命医科学研究センターテクニカルスタッフ)

宮木 純子 学術支援専門職員
(転出先：大気海洋研究所東北マリンサイエンス拠点形成事業 事務補佐員)

2013年6月1日 採用

相田 俊一 特任専門員
(前職：富士フイルム株式会社技術戦略部主任技師)

2013年6月30日 退職

穆 勝宇 特任助教
(転出先：アーカンソー大学医学部薬理学専攻准教授)

2013年7月1日 転出

藤枝 伸 係長 (転出先：薬学部・薬学系研究科教務チーム係長)

寺内 由紀子 主任
(転出先：医学部附属病院管理課総務・監査チーム(総務・監査担当) 主任)

野村 史薫 一般職員
(転出先：医学部附属病院管理課研究支援チーム一般職員)

2013年7月1日 採用

横矢 直人 助教 (前職：日本学術振興会特別研究員)

早田 敬太 特任研究員
(前職：イェール大学医学大学院内科腎臓学専攻ポスドク研究員)

保坂 理和子 特任専門員 (前職：大阪大学医学部特任事務職員)

2013年7月1日 転入

竹能 康純 係長 (前職：(独) 日本学生支援機構学生生活部
障害学生支援課学生調査・分析係長(調査分析室担当))

河島 淑美 主任 (前職：(独) 国立文化財機構東京国立博物館
総務部総務課主任(渉外開発担当))

島本 里美 一般職員 (前職：財務部決算課財務分析チーム)

発行：東京大学先端科学技術研究センター
〒153-8904 東京都目黒区駒場 4-6-1
<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp>

広報委員：
神崎亮平（委員長）、鈴木宏正、酒井寿郎、岡田至崇、池内恵、ティクシェ三田
アニエス、巖淵守、渡邊克巳、野口香織、北別府由美、今泉昭子



転出する方々。左から野村史薫一般職員、藤枝伸係長、寺内由紀子主任

お詫び：今号の「先端研探検団 II」、「リレーエッセイ」はお休みいたします。

編集後記

今年もお天気に恵まれたキャンパス公開。大勢の方にご来場いただきました。ありがとうございます。1年に1度、皆様に研究成果を見ていただけるこのキャンパス公開、研究者の奮闘ぶりが少しでも伝わったなら嬉しく思います。

また、今年度から発行間隔が隔月刊から季刊に変更になりました。少しゆっくりめになりますが、これまで通りご愛読いただければ幸いです（の）

今号は6月に開催されたキャンパス公開を特集しました。先端研で広報として働き始めて3回目のキャンパス公開。例年にないほどたくさんの子どもの姿を見かけた気がします。これは今年初めて開催した「たまご落としコンテスト効果」でしょうか？ 普段は静かなリサーチキャンパスに子どもたちの元気な歓声が響きわたるのはとても新鮮でした！（北）

先端研ニュース 2013 Vol.03 通巻 84 号

発行年月：2013 年 7 月
印刷：株式会社総北海
編集：先端研ニュース編集委員
© 東京大学先端科学技術研究センター
転載希望などのお問い合わせ
press@rcast.u-tokyo.ac.jp

この冊子は植物インキを使用しています。